

4. 国際活動

(1) 海外研究活動のための渡航

1) 弦 間 洋

- ① ニホンナシ果実の鮮度保持技術援助のため、中国へ渡航（1995年8月5日～8月18日）
- ② 学術振興会学術交流事業（共同研究）のため、フィリピンに渡航（1996年2月6日～2月18日）
- ③ 日本学術振興会特定国派遣事業のため、タイに渡航（1996年7月15日～1996年8月3日）
- ④ 学術振興会学術交流事業（共同研究）のため、フィリピンに渡航（1997年2月8日～2月21日）

2) 半 田 高

- ① ジョンイネス研究所訪問のため、イギリスへ渡航（1995年5月22日～25日）
- ② ペルピニャン大学, INRA 他訪問のため、フランス, オランダへ渡航（1995年11月18日～12月11日）

3) 林 久 喜

- ① ソバ属植物の特性と評価に関する研究のため、カナダ, 中華人民共和国へ渡航（1995年11月1日～1996年2月2日）
- ② 大学間交流タイ国海外研修旅行引率のため、タイ王国に渡航（1996年8月21日～30日）

4) 本 田 洋

- ① 第20回国際昆虫学会議出席のため、イタリア, フィレンツェへ渡航（1996年8月24日～9月4日）

5) 今 津 道 夫

- ① 第3回日中真菌学会議出席のため、中国へ渡航（1995年9月13日～24日）
- ② 日本学術振興会研究者派遣事業による国際共同研究のため、ロシア科学アカデミー生物・土壌学研究所に滞在（1996年3月31日～9月26日）

6) 岩 堀 修 一

- ① 「熱帯における熱帯果樹と落葉果樹の栽培と収穫後の取り扱いに関する研究」のため、タイ王国カセサート大学へ渡航（1995年12月22日～1月6日）
- ② 「温暖化における落葉果樹の適応性, 特に休眠と低温要求性との関

係」研究調査のためブラジル国農務省温帯農業研究所に渡航（日本
学術振興会）（1996年7月22日～1996年8月21日）

7) 戒 能 洋 一

- ① 「キイロショウジョウバエの集合フェロモンに関する研究」ため、オランダへ渡航（1995年8月19日～1996年8月31日）

8) 柿 嵐 眞

- ① カラマツ類黒葉さび病の調査のため、ロシアへ渡航（1995年8月10日～24日）

9) 金 井 幸 雄

- ① 農林水産省委託調査「フィリピン特用家畜（水牛）調査」のため、フィリピンへ渡航（1995年10月1日～14日）

10) 勝 屋 敬 三

- ① マツ類の青変病の調査および共同研究打ち合わせのため、中国東北林業大学および北京農業大学訪問（1996年8月10日～20日）

11) 金 才 賢

- ① 木材輸入競合国需給動向調査事業のため、韓国へ渡航（1996年1月12日～2月2日）
- ② 木材輸入競合国需給動向調査事業のため、韓国へ渡航（1996年2月27日～3月8日）

12) 熊 崎 實

- ① 農村調査のため、ネパールへ渡航（1996年3月17日～27日）

13) 増 田 美 砂

- ① 「西アフリカ大平原の源流小水域の土壌と農林生態系の再生に関する現地調査」のため、ナイジェリアへ渡航（1995年8月～9月）
- ② 文部省在外研究員として英国へ渡航（1996年1月～1996年11月）

14) 餅 田 治 之

- ① JICA 事前調査ミッションによる渡航：「ラオスヴァンヴィエン地域森林保全流域管理計画調査」（1996年1月14日～24日）

15) 永 田 啓 一

- ① Research Associate として米国ノースウエスタン大学医学部分子薬学科にて研究のため、米国へ渡航（1992年5月1日～1996年3月31日）
- ② 米国ノースウエスタン大学医学部分子薬理学科へ共同研究のため渡航（1996年11月）

16) 中 村 徹

- ① 「春期の植生調査研究」のため、シリアアラブ共和国、ヨルダンハシ

ミテ王国へ渡航（1995年3月24日～4月7日）

- ② 「科学研究費（国際学術研究）による調査研究」のため、シリアアラブ共和国へ渡航（1995年5月7日～24日）

17) 野村 港 二

- ① 「不定胚形成に関する細胞生物学的研究」のため、フランス共和国へ渡航（1995年11月29日～12月30日）

18) 石 敏 俊

- ① 東アジアにおける立体農業開発と持続的農業に関する研究のため、中国へ渡航（1996年7月12日～8月10日）
- ② 砂漠化防止対策に関する研究のため、中国へ渡航（1997年1月4日～14日）

19) 鈴木 徹

- ① トランスジェニック植物における遺伝子発現に関する研究のため、アメリカ合衆国へ渡航（1994年4月21日～1995年3月15日）

20) 田 島 淳 史

- ① 文部省在外研究員としてアメリカ合衆国へ渡航（1997年2月3日～11月30日）

21) 田 中 洋 介

- ① 華北畑作営農の実態調査のため、中国へ渡航（1995年4月29日～5月6日）
- ② 西部ジャワ畑作営農の実態調査のため、インドネシアへ渡航（1995年6月1日～11日）
- ③ 砂漠化防止対策の適用効果の評価手法の開発に関する研究のため、中国へ渡航（1996年3月2日～15日）
- ④ 東アジアにおける立体農業開発と持続的農業に関する研究のため、中国へ渡航（1996年7月27日～8月7日）
- ⑤ 砂漠化防止対策に関する研究のため、中国へ渡航（1997年1月4日～14日）

22) 豊 田 隆

- ① タイにおけるエビ養殖業の持続的発展に関する現地調査のため、タイ王国へ渡航（1995年8月1日～10日）
- ② 台湾における花卉の輸出システムに関する現地調査のため、台湾へ渡航（1995年12月4日～10日）
- ③ タイにおけるエビ産業のアグリビジネスに関する現地調査のため、タイ王国へ渡航（1996年7月31日～8月4日）

23) 山 岡 裕 一

- ① マツ類の青変病の調査および共同研究打ち合わせのため，中国東北
林業大学および北京農業大学訪問(1996年8月10日～20日)

(2) 海外での国際会議等への出席

1) 弦 間 洋

- ① キングモンクット工科大学客員教授, およびチェンマイ大学, カセサート大学での招待講演のため, タイへ渡航 (1995年8月20日~9月10日)
- ② 国際ポストハーベスト会議に出席, 論文発表のため, ニュージーランドに渡航 (1996年8月4日~12日)

2) 半 田 高

- ① アジア太平洋植物組織培養国際会議参加発表のため, 中国に渡航 (1996年7月28日~8月10日)
- ② 国際新花卉シンポジウム参加発表のため, オーストラリアに渡航 (1996年9月28日~10月5日)

3) 本 田 洋

- ① 第20回国際昆虫学会議参加のため, イタリア・フィレンツェに渡航 (1996年8月24日~9月4日)

4) 岩 堀 修 一

- ① 国際園芸学会評議会出席のため, ニュージーランドに渡航 (日本学術会議より派遣) (1997年2月17日~21日)

5) 戒 能 洋 一

- ① 第20回国際昆虫学会出席のため, イタリア, フィレンツェに渡航 (1996年8月25~31日)
- ② Mating Behavior and the Sex pheromone of *Ascogaster reticulatus* Watanabe (Hymenoptera: Braconidae). ETH, Zurich, Switzerland; May 28, 1996.
- ③ Host-Finding and Learning Behavior in *Ascogaster reticulatus* Watanabe (Hymenoptera: Braconidae). Amsterdam Univ., The Netherlands; June 11, 1996
- ④ Contact Sex pheromone of *Ascogaster reticulatus* Watanabe (Hymenoptera: Braconidae). IAC-Rothamsted, Harpenden, UK; June 20, 1996
- ⑤ Mating Behavior and Sex pheromone in *Ascogaster reticulatus* Watanabe (Hymenoptera: Braconidae). Imperial College, Ascot, UK; June 25, 1996
- ⑥ Mating Behavior and a Trail Sex-Pheromone in the egg-larval Parasitoid, *Ascogaster reticulatus* Watanabe (Hymenoptera: Braconidae). INRA-CNRS, Bures sur Yvette, France; July 26,

1996

6) 柿 嵐 眞

- ① 第3回日中真菌学会議出席のため、中国へ渡航（1995年9月13日～24日）

7) 永 田 啓 一

- ① 第25回 Annual meeting, Society for Neuroscience に出席（1995年11月）
- ② 第26回 Annual meeting, Society for Neuroscience に出席（1996年11月）

8) 正 野 俊 夫

- ① 「第13回国際植物保護会議」出席のため、オランダ国へ渡航（1995年7月1日～17日）
- ② 「第20回国際昆虫学会」出席のためイタリア協和国に渡航（1996年8月10日～9月1日）

9) 田 島 淳 史

- ① Symposium on the Artificial Insemination of Poultry. Univ. Maryland. MD, USA. June 19-22, 1994.
- ② World's Poultry Congress, New Delhi, India. Sep 1-7, 1996.

10) DeMar Taylor

- ① Hormonal regulation of vitellogenesis in the soft tick, *Ornithodoros moubata* (Acari: Argasidae), XX International Congress of Entomology, Proceeding of Firenze Italy Meeting, p. 152.

11) 豊 田 隆

- ① 台湾国立中興大学において招待講演（1995年12月演題：ガット農業合意と多国籍企業アグリビジネス）
- ② アジア農業経済学会 (ASAE) バリ大会における2つの研究報告のため、インドネシアへ渡航（1996年8月5日～9日）

(3) 海外からの受け入れ

研究者名	研究題目	滞在期間	受入形態	受入教官
Indira Shiamamalie Weerasinghe (スリランカ国立医学研 究所昆虫学研究員)		1995.7.17 ~8.1.12	受託研究員(国際協 力事業団)	正野 俊夫
王 仲 青 (中国 内モンゴ農学科学 院馬鈴薯小作物研究所副 研究員)	ソバ等遺伝資源の評価及び利用技 術の開発に関する研究	1995.8.30 ~7.9.4	外国人招へい研究 員(国際協力事業 団)	生井 兵治
Carlos da Silva Martins (ブラジル国農牧研究公 社研究部遺伝資源・バイ オテクノロジー部門遺伝 資源研究室)	アイソザイム分析	1995.9.8 ~7.10.24	外国人受託研究員 (国際協力事業 団)	大庭喜八郎
Pearmsak Makarabhiron (タイ王国林野局, カセ サート大学兼任)		1995.9.1 ~7.10.30	論 博 研 究 者	赤羽 武
Jinda Sornsrivichai (タイ王国 Chiang Mai 大学理学部助教授)	タイ北部高原産ナシ及びマンゴ果 実の保護に関する生理学的研究	1995.10.5 ~7.11.4	私 費	岩堀 修一
Kranc, A. A. (ポーランド科学アカデ ミー動物繁殖・食品研究 所研究員)	野菜・果樹の機能性評価	1996.1.23 ~8.7.22	外国人研究員(日 本学術振興会2国 間研究者交流事 業)	岩堀 修一
Perlita A. Nuevo (フィリピン国フィリピ ン大学ロスバノス校農学 部研究員)	熱帯・亜熱帯果実の収穫後の生理 応答機構と保蔵の研究	1996.2.18 ~8.3.12	拠点大学方式によ る東南アジア諸国 との学術交流によ る外国人研究員	弦 間 洋

研究者名	研究題目	滞在期間	受入形態	受入教官
Rodrigo Infante (チリ・ラ・フロンテラ大 学講師)	チリ及び日本における果樹の促進 栽培と休眠打破法の比較研究	1996.3.1 ～8.3.31	日本学術振興会外 国人特別研究員 (短期)	弦 間 洋
Fernando Fornes (ヴァレンシアポリテク ニク大学講師)	落葉果樹の開花・結実・幼果の生 長に伴う光合成産物の転流・分配	1996.3.14 ～8.4.14	日本学術振興会外 国人特別研究員 (短期)	岩 堀 修 一
Yu Xue (中国 東北林業大学助 教授)	DNA 多型解析によるマツ類さび 病菌類の分類・同定	1996.3.15 ～8.4.20	日本学術振興会外 国人特別研究員 (短期)	柿 島 眞
Chalermchai Wongs- Aree (タイ王国 King Mongkut 工科大学研究 員)	熱帯果実の貯蔵過程における生理 障害発生機構に関する研究	1996.4.14 ～8.4.28	私 費	弦 間 洋
Apiradee Uthairatanakij (タイ王国 King Mongkut 工科大学研 究員)	熱帯果樹の低温耐性に関する組織 生理学的研究	1996.4.14 ～8.4.28	私 費	弦 間 洋
汪 宏 清 (中国科学院 平試験場 場長)	東アジアにおける立体農業開発研 究	1996.6.30 ～8.7.9	私 費	田 中 洋 介
Yupa Hanboonsong (タイ王国コーンケン大 学農学部昆虫学科講師)	害虫とその寄生性昆虫における生 分類学的関係の分子遺伝学的研究	1996.9.29 ～8.11.3	日本学術振興会2 国間協定による短 期外国人研究者	本 田 洋
Camelatto, Darcy (ブラジルペロータス試 験場植物生理研究室研究 員)	植物組織の化学分析	1996.11.1 1～8.12.6	外国人受託研究員	岩 堀 修 一

研究者名	研究題目	滞在期間	受入形態	受入教官
金 弘 烈 (大邱暁星 Catholic 大 学校)	rol 遺伝子導入植物における植物 ホルモンの挙動に関する研究	1996.12.1 5~9.2.27	日本国際教育協会 1996 年度帰国外 国人留学生短期研 究制度に係わる外 国人研究者	高柳 謙 治
Antonio L. Acedo (フィリピン ヴィサヤ 農科大学教授)	熱帯・亜熱帯の収穫後の生理応答 機構と保蔵の研究	平 9.1.16 ~9.2.8	拠点大学方式によ る東南アジア諸国 との学術交流によ る外国人研究員	弦 間 洋
Victor MANOLII (モルドバ共和国モルド バ州立農業大学講師)	トウモロコシのヘテロシスに関す る生理遺伝学的研究	平 9.4.1~ 9.9.30	(財)松前国際友 好財団外国人研究 員	高柳 謙 治

(4) 国内での国際会議等への出席

1) 林 久 喜

- ① 第6回国際ソバシンプジウム出席(1995年8月24日~29日)